

公益財団法人 三重医学研究振興会

令和4年度医学研究助成金研究成果報告書

令和5年3月1日

三重医学貢献賞（医学教育・社会貢献部門）

報告者 氏名（年齢） 久留宮 隆（64歳）  
所属・職名 永井病院 救急担当医師

○受賞の感想と今後の抱負

このたびは三重医学貢献賞という名誉ある賞をいただき、大変光栄に存じますとともに、今後一層の努力をしなければ、という思いに駆られる次第です。この度ご評価頂いた国境なき医師団での活動や医学教育活動は私が済生会松阪総合病院に在職していた時から始まったもので、その後は桑名の山本総合病院（現在の桑名市総合医療センター）でのサポートをはじめ、様々な方々にご迷惑をかけ、またご支援を頂いたおかげで達成できたものであると感じております。今後はこの賞に恥じる事のない様、ますます精進する所存です。今後とも何卒変わらぬご指導をお願い致します。

○受賞テーマ

「国境なき医師団日本の会長として医療活動に従事、アジア、アフリカ地域での低所得国、紛争地域、難民キャンプなどでの人道医療支援に貢献」

○医学・看護教育、医療人教育、社会貢献の分野に於いて成し遂げた顕著な業績

2001年より全国医学教育ワークショップに参加し、その後は同ワークショップのファシリテーターとして活動し、その知識と経験を活かして、卒後臨床研修必修化後にはMMC(Mie Medical Complex)の実行委員として三重県における研修教育にかかわるとともに、桑名地域、いなべ地域と愛知県西部の研修病院群「木曾川カンファレンス」の立ち上げに尽力した。またその際には、国境なき医師団の一員としての海外医療活動の経験をもとに、国際医療研修コースを開いて、三重県の研修医の国際化を促進するとともに、三重大学や三重県内の看護教育機関、歯科教育機関をはじめとして桑名市、四日市市、津市の高校を中心に国際医療に関する講義活動を行って、若者における国際問題の認識など、様々な教育活動をおこなってきた。

○業績の概要と将来展望

平成16年 国境なき医師団医療活動 リベリア（モンロビア）

平成 16 年	国境なき医師団医療活動	シエラレオネ (マグブラカ)
平成 21 年	国境なき医師団医療活動	ナイジェリア (ポートハーコート)
平成 21 年	国境なき医師団医療活動	スリランカ (マニックファー
	ム)	平成 22 年 国境
	なき医師団医療活動	イエメン (ハミール)
平成 23 年	国境なき医師団医療活動	パキスタン (ティムルガラ)
平成 24 年	国境なき医師団医療活動	ナイジェリア (ポートハーコート)
平成 25 年	国境なき医師団医療活動	シリア (アレppo)
平成 26 年	国境なき医師団医療活動	中央アフリカ共和国 (バンギー)
平成 27 年	国境なき医師団医療活動	ネパール (アルガット)
平成 27 年	国境なき医師団医療活動	コンゴ民主共和国 (ルチュル)
平成 28 年	国境なき医師団医療活動	熊本 (南阿蘇)
令和元年	国境なき医師団医療活動	イエメン (ハミール)
令和 2 年	国境なき医師団医療活動	スリランカ (コロambo、バティカロア)
令和 2 年	国境なき医師団医療活動	カメルーン (クンバ)

#### (将来展望)

国境なき医師団の経験をもとに三重県下で様々な活動を展開してきたが、2022 年後期からは国境なき医師団日本の地域 Hub となる「MSF 東海フレンズ」を組織して東海地方における医療サポート活動を推進し、特に災害下における一般市民の対応をガイドし、スムーズな支援を受けるための受援力(支援を受ける力)の獲得をサポートする「防災キャンプ」や国際医療・災害医療に対する市民の意識を高めるための「写真パネル展示イベント」などを行う計画を立てている。今後はこのような活動を続け、三重県の医学教育の中では、今後ますます必要となると想定される「国際性」を備えた人材の育成を目指し、また将来起こりうる災害対策においても、必要となり得る対応について D-MAT や公的機関とともに協議をおこなうだけでなく、一般市民の意識を高め、いざという時の対応ができるよう意識改革をおこなっていきたいと考えている。

#### ○本業績における実績

##### 定期講義

三重大学医学部医学科医学概論講義(私にとっての医療 -国際医療協力の経験から-)

[2011 年から 2022 年]

公衆衛生学院講義 (Workshop: 医療とは?)

[2010 年から 2022 年]

京都大学医学部講義(私にとっての医療 : 国際医療と国際保健)

[2011 年から 2022 年]

MMC 国際医療研修 講義

[2011年から2017年]

臨時講義及び講演

2010.9.13	名古屋大学 Young Leaders Project 講演会
2011.9.12	名古屋大学地域医療学講義
2011.10.18	関西医科大学 医師不足セミナー基調講演
2011.10.24	三重大学医療倫理研修会講演
2012.7.6	亀山市立昼生小学校 講演会
2012.9.9	桑名医師会 災害の日講演
2012.9.10	名古屋大学 Young Leaders Project 講演会
2012.8.10	海南病院 特別講演
2013.5.16	三重看護専門学校 特別講演
2013.8.29	桑名高校衛生看護学科 災害医療講義
2013.10.9	三重大学国際保健医療研究会 講演
2013.10.20	MMC 共催：国境なき医師団活動報告会
2014.2.8	名古屋医専特別ゼミ講演会
2014.2.16	桑名市市民公開講座 講演
2014.6.7	MMC 研修医 Advanced OSCE 大会 講演
2014.6.11	三重看護専門学校 特別講演
2014.8.5	海南病院 特別講演
2015.2.26	名古屋医専特別ゼミ講演会
2015.3.5	桑名高校衛生看護学科 災害医療講義
2015.5.21	三重看護専門学校 特別講演
2015.5.30	全国(MMC)OSCE 大会 特別講演
2015.7.2	四日市高校 SGH ワークショップ
2015.7.13	桑名高校人権講演会
2015.10.1	星城高校 SGH 特別講演
2016.1.19	三重大学臨床実習特別講義
2016.2.30	名古屋医専特別ゼミ講演会

2016.3.3	津看護専門学校特別講演
2016.3.17	桑名高校衛生看護学科 災害医療講 義
2016.5.30	三重看護専門学校 特別講演
2016.7.2	四日市高校 SGH ワークショッ プ
2019.5.6	国際医療福祉大学 シンポジウム 基調講演
2019.10.19	セントヨゼフ女学院 講演会
2019.10.25	桑名市立明正小学校 講演会
2020.12.3	順天堂大学 特別講演 会
2020.12.22	三重大学大学院 講義
2021.5.13	三重県医師会 保険医協会座談会講演
2021.7.1	三重大学国際医療センター講演会
2021.10.16	三重県看護連盟講演会
2021.11.9	順天堂大学国際教養学部 特別講演
2021.11.12	三重大学教養教育院 講義
2021.12.22	三重大学国際交流センター 講演
2022.9.21	セントヨゼフ女学院 講演会
2022.10.28	三重大学教養教育院 講義

#### ○学術論文

- 1) 久留宮隆、金杉詩子. パンデミック下の画期的な提案：新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 関連知的財産権の一時停止案はなぜ重要か 臨床評価 49(2)
- 2) 久留宮隆. 特別企画(9)「過去から未来に繋げる災害医療と外科医の役割」6. 災害医療において必要とされる外科的 skill と外科医の役割-紛争地における外科治療の経験から- 日本外科学会雑誌 124(1), 143-145.

#### ○略歴

昭和 59 年 5 月	三重大学医学部付属病院第一外科 研修医
昭和 60 年 6 月	三重厚生連松阪中央総合病院外科 研修医
昭和 62 年 6 月	三重大学医学部第一外科 医員
平成元年 6 月	永井病院外科 医員
平成 3 年 6 月	山本総合病院外科 医員
平成 5 年 6 月	名古屋記念病院外科 医員
平成 8 年 4 月	三重厚生連鈴鹿中央総合病院外科 医長
平成 10 年 4 月	県立志摩病院外科 医長
平成 13 年 1 月	済生会松阪総合病院外科 手術室部長
平成 17 年 10 月	あいち肝胆膵消化器クリニック 診療部長
平成 19 年 4 月	山本総合病院外科 手術室部長
平成 24 年 4 月	桑名市総合医療センター桑名東医療センター外科 手術室部長
平成 28 年 4 月	愛知厚生連 海南病院 総合診療代表部長
平成 29 年 1 月	いなべ総合病院 総合診療科部長
令和 2 年 1 月	永井病院 救急科医師
平成 16 年 3 月	ロサンゼルス 語学留学(英語) カルフォルニア州立大学ノースリッジ校
平成 27 年 10 月	パリ 語学留学(フランス語) アリانسフランセ A1-certificate

○専門分野

肝胆膵消化器外科、一般外科、救急、総合診療、医学教育

○医学博士、専門医資格など

医学博士(乙)、日本超音波医学会指導医、ATOM 認定医 (外科学会指導医、消化器外科学会指導医、乳癌学会認定医⇒ 返納済)